

令和5年度

教科書調査研究報告書

小学校

特別の教科道徳

富士地区教科用図書採択連絡協議会

富士地区教科書研究委員会

I 調査研究対象教科書

発行者	書名	学年
2 東京書籍	新しい道徳新編	1～6年
17 教育出版	小学道徳 はばたこう明日へ	1～6年
38 光村図書	道徳 きみが いちばん ひかるとき	1～6年
116 日本文教出版	小学道徳 生きる力	1～6年
208 光文書院	小学道徳 ゆたかな心	1～6年
224 学研	新 みんなの道徳	1～6年

II 調査研究の観点

1 内容

- (1) 道徳的諸価値を含んだ適切な内容か。
- (2) ねらいに迫るために、教科書構成上、各教材においてどのような工夫がされているか。
 - ・書くためのスペースの確保
 - ・他教科との関連

2 組織・配列・分量

- (1) 児童が、系統的・発展的・主体的に学習できるように教材が配列されているか。
 - ・学年間の系統性、発展性
 - ・主体的な取組を増やすための工夫
- (2) 児童の発達の段階や特性、地域の実情、現代的な様々な課題への対応等を考慮した、多様な教材が活用されているか。

3 児童の発達段階への配慮

- (1) その学年の児童にとって、共感しやすい教材か。
- (2) ユニバーサルデザインの視点から、文字、挿絵、写真等は、適切、鮮明であり、児童の発達段階に配慮されているか。

別紙様式 2

種目名	道徳
-----	----

発行者 番号	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
略 称		
2 東書	新しい道徳	<p><内容></p> <p>(1) 現代的な課題について考える5つのユニットがある。特に「いじめの防止」では、いじめを直接的に扱う教材と間接的に扱う教材、コラムを組み合わせて、いじめの防止について多角的に考えることができる。</p> <p>(2) 「考えよう」の中の、◎教材の中で考えること、○自分事として考えることが深い学びにつながる。さらに、教材で学習した後、コラム「つながる・ひろがる」で、それに関連する絵本の紹介や動画の紹介等があり、自分の生活につなげる投げ掛けになっている。また、全教材に QR コードで紙芝居を聞いたり、見たりすることができるので、特別な支援を要する子供や外国人児童など配慮の必要な子供の読解も助け、想像を広げることができる。</p> <p><組織、配列、分量></p> <p>(1) 4 観点が見やすく、内容項目も子供にとってわかりやすい。一目で何を学ぶかわかる。子供が「前にもこんなことやったよね。」という振り返りもしやすい。また、巻末の教材一覧表の中に他教科等の関連が書かれていて、横断的な学習に役立ち、子供にとっても教師にとっても使いやすい。</p> <p>(2) すべての教材に QR コンテンツが用意され、朗読やデジタルノートなど個別最適な学びを支援し、協働的な学びを広げている。</p> <p><児童の発達段階への配慮></p> <p>(1) 字体が見やすく、発達段階に応じた字の大きさ、行間であり、親しみやすい。配色やデザインにも工夫があり、ユニバーサルデザインを意識している。また、ダイナミックな絵や写真を生かした教材が多く、子供の興味、関心を大いにひく。</p> <p>(2) 巻末の「学習の記録」により子供たちが心に残った教材を振り返り、自分の成長を見つめることができる。シンプルで、使いやすい。</p>

	<p><総評></p> <ul style="list-style-type: none">・子供の心に響く教材が多くあり、子供たちが道徳的価値について深く考えることができる。また、「いじめの防止」や「情報モラル」「生命尊重」など現代的な課題に目を向けたユニット編成が、深く考え、議論する道徳につながっている。さらに他教科等の学習や地域や家庭での活動にもつながるものとなっている。・巻頭にある4観点も、巻末にある教材一覧表も、1時間で学習する教材も、流れが一目でわかる教材構成になっていて、わかりやすく、富士地区の子供たちに適している。
--	---

別紙様式 2

種目名	道徳
-----	----

発行者 番号	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
略 称		
17 教出	小学道徳 はばたこう 明日へ	<p><内容></p> <p>(1) 道徳の学び方を示す最初の導入ページが分かりやすく、子供たち自身が学習の流れを意識することができる。どの教材の冒頭にも道徳的価値に関する問いかけが書かれており、学びの見通しが持てる。役割演技のやり方を具体的に示しているのが、子供にも教師にも効果的で取り入れやすい。「まなびリンク」から様々な情報につながり、効果的に学習できる。</p> <p>(2) どの学年も、教材ごとに共通した3項目(しっかり考えられた・新しく気づいたことがあった・大切にしたいことがわかった)について振り返りができるようになっていて、毎時間意識しながら授業に臨めるようになる。巻末には程良い量で、学びの記録や振り返りができるようになっており、自分の成長を感じることができる。</p> <p><組織、配列、分量></p> <p>(1) 発達段階に応じて、内容項目に軽重がつけられている。1年生は「集団や社会との関わりに関すること」が多く、「生命や自然」に関するものが少ない。逆に、5年生はSNS いじめ、6年生は、コロナやマイクロプラスチックなど今日的な時事問題が教材として取り上げられ、子供が興味をもちやすく、真剣に考えることができる。</p> <p>(2) 同じ内容項目の教材を時期を変えて学ぶことで、成長の様子が分かる。重要項目はユニットで構成されており、本時の学びを次の時間につなげ、考えがより深まっていくような工夫がされている。</p> <p><児童の発達段階への配慮></p> <p>(1) 各学年の最初は、自分の生活を見つめる教材から始まっているので、身近な問題に目を向け、考えることができる。</p> <p>(2) 教材のあとにコラムが設けられているので、本時の学習の内容をさらに深めたり、広めたりすることができる。また、高学年の教材では、SNS いじめなど、子供の実態により合っていて、自分のこととして考えやすいように感じる。</p>

	<p><総評></p> <ul style="list-style-type: none">・子供たち自身が、道徳という教科は何をどのように学べばよいのか導いてくれるような構成になっている。授業では、役割演技の場面など体験的な学習や問題解決的な学習など、多様な指導方法ができる。・考えよう→深めよう→つなげようの中での発問が、内容の展開に合わせて精選されている。
--	--

別紙様式 2

種目名	道徳
-----	----

発行者 番号	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
略 称		
38 光村	道徳 きみがいち ばんひかる とき	<p><内容></p> <p>(1) ヨシタケシンスケさんの文と絵や、「ともだちや(3年生)」など、子供に人気のある話が採用されており、子供の興味をひく内容となっている。また、6年「恋ちゃん—はじめての「みとり」」のように、同じ年齢の子の実体験が取り上げられているため、自分では経験のないことでも自分事として子供の心により強く訴えることができる内容になっている。</p> <p>(2) 「考えよう・話し合おう」では、他者理解・価値理解・自己理解を深める発問で、ねらいや視点がきちんと示されているため、価値に迫っていけるものとなっている。</p> <p><組織、配列、分量></p> <p>(1) レイアウトに工夫が見られる。2年「どうとくがはじまるよ」では、4観点に絵を添えてわかりやすく表現されている。また、QRコードを読み取ると、4観点についての詳しい動画が出てくるので、道徳で育みたい力がよりわかりやすく子供に伝えることができる。</p> <p>(2) 前半は学び方を学び、後半は対話を積み重ねる授業など、構成が工夫されているので、年間を通して子供が主体的に道徳性を養うことができるものとなっている。いじめ問題や情報モラルなどの現代的な課題はユニット教材となっているため、重点的に取り組むことができる。</p> <p><児童の発達段階への配慮></p> <p>(1) 巻末の「学びの記録」が発達段階に合わせて工夫されている。学びの記録シールや一言感想など発達段階に応じた振り返りをすることができるものとなっている。</p> <p>(2) 情報モラルに関する教材は、子供の中でよく起こる身近な内容となっており、自分事として捉え、考えることができる。また、考えるヒントのページの中で、「別の言い方で確かめよう」などの思考ツールが掲載されており、話合いのスキルを身に付け、どの子も自分の思考を整理することができる。</p>

	<p><総評></p> <ul style="list-style-type: none">・「生命の尊さ」に重点が置かれているが、いのちの教材だけでなく、現代の社会事象に目を向け、子供が問題意識を持ち、主体的に考えることができる教材となっている。よりよく生きていくための道徳性を育むことのできる教材がバランスよく配置されている。・「考えるヒント」があることで、自分の考えを整理するだけでなく、話合いの視点や交流の仕方が紹介されており、よりねらいに迫った学習ができるようになっている。子供の主体的な学びと対話を生み出すことが期待できる。
--	---

別紙様式 2

種目名	道徳
-----	----

発行者 番号	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
略 称		
116 日文	小学道徳 生きる力	<p>(1) 実在する人物の話や社会問題等に関わる教材、漫画や写真など機密なジャンルの題材が取り入れられており、子供の興味を引く工夫がされている。題名の後に登場人物の紹介や簡単なあらすじを紹介してあったり、発問例が示されていたりするため、子供が考えていくための道筋がわかる。</p> <p>(2) 別冊ノートは多様な使い方ができ、子供が自由に記述できるようになっている。ノートがあることで、これまでの学習を振り返ることができ、自分の心の変容に気付いたり、学びを積み重ねたりすることができる。</p> <hr/> <p><組織、配列、分量></p> <p>(1) 「いじめの防止」について、複数の教材をユニット化し、学期ごとに配置されている。日常の中で起こりがちな「いじめ」の事例を取り上げた教材と「いじめ」を許さない心を育てるために考えたことがあるものの2つを設定することで、いじめの問題や人のかかわりについて集中的に学べるようになっている。</p> <p>(2) コラム「心のベンチ」が各学年5箇所配置されており、「情報モラル」や「いじめ」「SDGs」などの現代的なテーマについて、6年間を通して、多面的・多角的な見方や考え方で広く深く考えていけるようになっている。また、道徳科以外の教科活動とも関連付けられている。</p> <hr/> <p><児童の発達段階への配慮></p> <p>(1) 字の大きさが発達段階に応じて配慮があり、字体や行間が読みやすく、優しい印象である。1年生の教材「にんじんばたけ」では、登場人物のウサギの絵文字が会話文の上であり、長い文章でもわかりやすい。</p> <p>(2) 「とびら」の頁は、低学年ではイラストや写真で目次を表すなど、発達段階に応じて子供が教材の内容に興味・関心を高められるように工夫されている。また、「学び方」の頁では、イラストや写真を多く用いて、子供が学び方のイメージをもって取り組めるようにしている。</p>

	<p><総評></p> <ul style="list-style-type: none">・授業の流れに沿った発問例が全教材に示してあることにより、教師も児童も授業の見通しをもつことができ、深く考えることができる。「ぐっと深める」では、「問題解決的な学習」や「体験的な学習」だけでなく、自分の生活につながるような「多様な実践活動を生かした学習」を取り入れることで、より一層ねらいに近づき、深い学びを実現できる。
--	--

別紙様式 2

種目名	道徳
-----	----

発行者 番号 略 称	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
208 光文	ゆたかな心	<p><内容></p> <p>(1) 絵本や子供が知っているキャラクターが用いられ、子供にとって親しみやすい教材である。また、登場人物が絵で紹介されていたり、絵に吹き出しが付いていたりして、気持ちを考えやすい。ねらいや学習の見通しが丁寧であり、教材について多面的、多角的に考えられる「かんがえよう」や、自分事として考えられる「まとめよう」、生活につなげられる「ひろげよう」があり、深く考えることができる。初任者でも授業がやりやすい。</p> <p>(2) 今日的な課題である「情報モラル」「いじめ」「SDGs など持続可能な社会」についてが、すべての学年で取り上げられている。最後の「学びのあしあと」では、顔のマークや感想などで、学習の記録を積み重ね、これまでの学習の振り返りができる。</p> <hr/> <p><組織、配列、分量></p> <p>(1) 教材が各学年 40 掲載され、子供の実態に合わせて重点的に扱いたい内容項目の授業を計画できる。発展、コラムも配置され、深い学びにつなげやすい。</p> <p>(2) 授業の流れの説明が丁寧なので、教師用の指導書としても助かる内容である。また、発達段階に応じた思考ツールがあり、自分の考えを視覚化したり、まとめたりするのに活用しやすい。</p> <hr/> <p><児童の発達段階への配慮></p> <p>(1) 高学年では、実在の人物を扱った教材が多く、自分事として考える工夫がある。どの学年も発達段階に応じた教材が扱われ、多面的、多角的に考えられる工夫がある。</p> <p>(2) 挿絵や写真が多く、また、大変きれいで子供の興味、関心をひく。手書きで書いたような丸い字体がやわらかい印象で、子供にとってとっつきやすい。</p> <hr/> <p><総評>・どの教材も冒頭に「ねらいにつながる導入」、そして最後には「かんがえよう」「まとめよう」「ひろげよう」があり、授業の流れが明確で丁寧である。</p> <p>・すべての学年で「いじめ防止」「生命の尊さ」など、重点的な現代の課題が扱われ、子供が自分事として考えられるようになっている。また、学校生活の中で起こる身近な教材、実在の人物を扱った教材などで、考え、議論する道徳の授業につながる。</p>

別紙様式 2

種目名	道徳
-----	----

発行者 番号	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
略 称		
224 学研	みんなの 道徳	<p><内容></p> <p>(1) 全学年「いのちの教育」が重点項目になっており、発達段階に応じて、「生命の尊さ」を多面的に捉えられる構成になっている。1年「みんなあかちゃんだったよ」では、等身大の赤ちゃんの写真が使われていることで、自分の成長が実感できる内容となっている。「考えよう」では、他者理解と自己理解の2つの吟味された発問が用意されている。</p> <p>(2) 心のパスポートによって、学びをさらに広げることができる。QRコードにあるワークシートや動画(3年の「けいの秋田竿燈まつり」や「ハチドリのひとしずく」など)が、内容の助けになっている。</p> <hr/> <p><組織、配列、分量></p> <p>(1) 各教材の題のところに、4観点がマークと色で示され、わかりやすい。下には読みたくなるキーフレーズがあり、子供の興味、関心をひくようなつくりになっている。全学年にユニット教材があることで、多面的、多角的に物事を捉え、深く考えられるようになっている。</p> <p>(2) 「みらい」「いのち」「共生」というよりよく生きることが重点テーマになっているため、内容項目の異なる2教材を連続して学ぶユニット教材が充実している。よりよく生きることについて、多面的・多角的に考えを深めることができる。</p> <hr/> <p><児童の発達段階への配慮></p> <p>(1) 1年生では、カタカナにもふりがながふってあり、ユニバーサルデザインを意識している。本のサイズが大きめな分、行間に余裕ができて読みやすい。また、高学年ではグラフや地図などを載せることで、考えをさらに深めるものになっている。</p> <p>(2) 原寸大の写真や優しい色のイラストが見やすい。「未来」と「明日香」が子供たちとともに6年間を通して成長し、身近な問題として捉えやすい。また、情報モラルについては、発達段階に応じて、教材が系統的に扱われており、考えを深められるようになっている。</p>

	<p><総評></p> <ul style="list-style-type: none">・写真や挿絵が見やすく、子供たちの思考を助け、主体的な学びにつながるものとなっている。・全学年「いのち」を最重点テーマとし、「いのちのユニット」では、項目の異なる教材を組み合わせ、広い視野で多面的・多角的に考えることができる。・巻頭の見開きでは、自己に向き合い、防災教育やいじめ防止などの現代的課題とSDGsを自分ごととして考えられるよう工夫されている。
--	---